

2024 年 5 月 24 日

財政制度等審議会
財政投融资分科会長
翁 百合 様

財政制度等審議会 財政投融资分科会委員

家森 信善

意 見

財政制度等審議会財政投融资分科会を所用により欠席する可能性がありますので、
書面にて別添の通り意見を申し述べます。

産業投資の基本的な役割について。これまでも社会の要請に応じて重点分野を変えてきましたが、これからも、政策性と収益性のバランスをとりながら、民間金融の呼び水としての役割を発揮するべきです。わが国にとっては重要であるが、民間だけでは実現できない投資プロジェクトを目利きする能力を高める必要があります。

産業投資にかかるガバナンス向上に向けた対応について。各機関への建設的関与を強化することには賛成です。しかし、箸の上げ下ろしにまで口を挟むようになると、現場の創意工夫を阻害してしまいかねないので、慎重に行っていく必要があります。基本は、各機関の取締役会や理事会、投資委員会などがきちんと機能しているかを監視することではないでしょうか。

産業投資の仕組み面の課題について。産業投資の資金源が実質的に NTT と JT 株の配当が大半となっているために、資金需要に柔軟に対応するための工夫を考えることは必要です。投資財源資金という制度があるというご紹介がありましたが、実際には利用されていないようです。ここに一般会計から組み入れていただくということも考えられますが、既存の産業投資による出資分を第三者に売却することなども検討してみてはどうでしょうか。